

昭和38年から3期、12年間、旧日吉町議会議員に選出され、地域と町行政のパイプ役として地域住民の意見を行政に反映させ、まちの基盤づくりに尽力されました。

昭和46年から2年間、土木常任委員長を務め、胡麻地区の簡易水道施設の完成や中央簡易水道工事に力を注ぎ、飲料水の供給施設整備に向け先導的な役割を果たされました。

また、旧日吉町の最大の課題であった日吉ダム建設にあたっては、計8年間ダム対策特別委員会委員として水没地域住民の生活再建を最優先に関係機関と交渉するとともに、地域が寂れないよう地域の振興策を積極的に提言するなど、日吉ダムの完成に大きく寄与されました。



「まちの基盤づくりに寄与」

旭日単光章

滝村 茂さん(日吉町・88)

高齢者叙勲 危険業務従事者叙勲 受章者



「自衛隊の充実発展に尽力」

瑞宝単光章

清原 輝夫さん(日吉町・61)

総務大臣表彰

南丹市担当行政相談委員
麻田 勝司さん(八木町)



平成5年から、17年もの長きに渡り、南丹市担当行政相談委員として活動されてきた功績に対し、総務大臣から表彰を受けられました。八木公民館で毎月1回、定例行政相談所を開設するなど、現在

昭和42年7月に陸上自衛隊員として入隊され、平成15年7月に3等陸尉として定年退職するまでの36年間に渡り、自衛隊の充実発展に尽力されました。

平成10年1月に准陸尉に昇任され、同年3月からは関西補給処桂支処総務部総務課付准尉として、庶務、人事、文書、補給、訓練などの業務について、若年隊員を指導し、円滑な総務業務の推進に努められました。

また、所属隊員の状況を的確に把握し、豊富な経験を基に親身な指導と適切な助言を行い、勤務意欲の向上と団結の強化を図り、円滑な隊務運営に貢献されました。

までに取り扱われた相談事案は、およそ750件にもなり、平成19年度からは京都府行政相談委員協議会副会長も務めておられます。

行政相談委員とは：

総務大臣から委嘱を受けて活動する無報酬のボランティアで、全国すべての市町村に配置。市民からの道路、河川、労働、福祉などに関する相談、苦情、要望を受け付け、解決方法の助言や関係機関への通知などを行います。